

2021年12月24日

各位

会社名 GMO TECH株式会社
 代表者名 代表取締役社長CEO 鈴木明人
 (コード: 6026 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役管理部部長 染谷康弘
 (TEL: 03-5489-6370)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日グロース市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況 及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなり、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関し2022年12月までを目途に上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況 (移行基準日時点)	2,733 単位	5.8 億円	24.8%	—
上場維持基準	1,000 単位	5 億円	25%	—
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※時価総額における基準は上場から10年を経過している場合に適用されるため当社は該当せず、基準日時点の時価総額は示されておりません。

○ 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、取り組み内容

(1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、必要な資本政策を適時に実行していく方針であります。また、グロース市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しており、今後も機関投資家・個人投資家への情報発信の拡充を通じ、より多くの投資家の投資対象になりうることを目指してまいります。

(2) 課題

当社はグロース市場における上場維持基準の適合にあたり、以下の点を課題として認識しております。

- ・ 大株主の保有割合が多く流通株式数が少ないこと
- ・ 株価が低調であること

(3) 取り組み内容

流通株式比率向上の具体的な施策につきましては、可及的速やかに当社の流通株式比率を 25.0%以上に改善したいと考えており、大株主による売却を前提とし内諾が得られておりますが、具体的な時期、手法については株価への影響を勘案したうえで計画期間内に上場維持基準の適合を目指す所存です。

また、株価対策といたしまして、四半期毎の決算情報の法定開示・適時開示に加え、決算補足資料を作成し、当社コーポレートサイトにおいて公表をしております。半期ごとに行っております決算説明会についても、オンライン開催の実施など、投資家における情報取得の機会の多様化に努めております。

今後も、適時開示およびコーポレートサイトでの情報公開を軸に、発信する情報の質に留意しつつ、当社の事業および今後の成長性の理解を促す情報発信に努めてまいります。

以 上